

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名			コード	38183	良好な住居環境の形成(宅地開発指導)	予算科目	会計	一般	款	項	目	事業種別	都市計画課	都市計画班
基本施策			21		良好な生活環境の形成	根拠法令	都市計画法・旭市宅地開発指導要綱					☒ 主な事業		
施策の展開			38		秩序ある土地利用	戦略事業	183	良好な住居環境の形成				☐ 国土強靱化地域計画		
施策の展開						戦略事業						☐ 新市建設計画		
												☐ 定住自立圏構想		
												☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	・市内の無秩序な宅地開発・環境破壊並びに開発区域及びその周辺における災害・公害等の防止と、健全な生活環境を形成するため、宅地開発指導要綱に基づきその履行を指導し、良質な宅地水準を確保する。 ・都市計画法第29条の開発許可申請に伴う、法第32条の協議・同意及び進達などに関する事務手続きを行う。 ・開発行為とは、主として建築物の建築または工作物などの建設の用に供する目的で行う土地の区画形質の変更をいう。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
都市計画法29条の開発許可基準に準じて公共施設及び住環境施設の整備基準を定め、都市的な土地利用と良質な宅地水準を確保することを目的に指導・審査を行う	近年における少子高齢化などの観点から、都市施設の維持管理及び住宅の立地の適正化を図るため、コンパクトなまちづくりを推進しているが、現状は核家族化の傾向にあるため、移動手段として自動車交通などを主とした郊外型の開発事業となっている
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
東日本大震災以降、防災機能の向上を図るため、宅地の耐震化などを含めた、安心・安全な住環境づくりが課題となっている。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
事業費	費目内訳	千円						
		千円						
		千円						
		千円						
		千円						
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
事業費	財源	千円						
	1. 国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	2. 都道府県支出金	千円	0					
	3. 地方債	千円	0					
	4. その他	千円	0					
前年度増減理由								
従事職員数		常時	2人	最大		人	×	日 = 延べ 0人

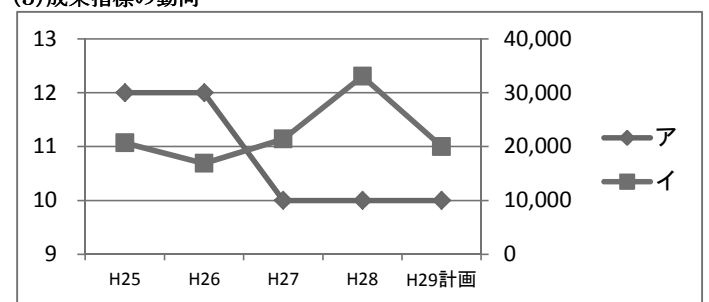
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 宅地開発事業に係る事前相談・事前協議 違反宅地パトロール		ア 事前協議相談件数	件	31	30	20	22	20
			イ 事前協議申請件数	件	13	13	9	10	10
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象 宅地開発事業 意図 都市計画法及び宅地開発指導要綱に沿った開発事業が実施され、都市的な土地利用と良質な宅地水準が確保される 対象意図		ア 事前協議同意件数	件	12	12	10	10	10
			イ 事前協議同意面積	m ²	20,673	16,897	21,386	33,052	20,000

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
成果向上余地	成果向上余地	成果向上余地	コスト比率	下位 1/3	中位 1/3
大きい	①		①	(1)	
普通			②		
			③		
			④⑤		
			⑥		
			⑦⑧		
小さい			⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況		☐ 完了		☒ 順調		☐ 概ね順調		☐ 停滞		☐ 実施困難			
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)													
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	比較 成果動向	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)		成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	ア		3	0	△2	0	0
									イ	2,828	△3,776	4,489	11,666	△13,052
	③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容		今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()					
			例年通り			現状維持								